様式第11号（第49条、第61条関係）

|  |
| --- |
| 年　　　月　　　日　東温市消防本部消防長　　　　様住所　　　　　　　　　　　　　　　　職業　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　　　　　　　　　　　　　　　　（□所有者・□管理者・□占有者）火災損害届（□不動産・□動産） |
| １ | り災日時 | 　　　年　　月　　日　　時　　分ごろ | 損害見積額 | 動産不動産 | 円円 |
| ２ | り災場所及び対象物名 | 東温市 |
| ３ | り災建物の構造・規模 | 構造 | 造　　　　　葺 | 階層 | 地上　　　階　地下　　階 |
| 建築面積 | ㎡ | 延面積 | ㎡ |
| ４ | り災建物の経過 | 建築年月 | 年　　　月 | 建築・購入金額(土地代を除く) | 円 |
| 購入年月 | 年　　　月 | 建築時の3.3㎡当たりの単価 | 円 |
| 建物の用途 | 　 |
| 増(改)築年月 | 増(改)築概要 | 増(改)築面積(㎡) | 増(改)築金額(円) |
| 年　　月 | 　 | ㎡ | 円 |
| 年　　月 | 　 | ㎡ | 円 |
| ５ | 建物以外の不動産り災状況 | り災物件名 | り災種別 | 数量または面積 | 取得または建設年月 | 取得または建設金額 |
|  | □焼損･□水損□その他 |  | 年　　月 | 円 |
|  | □焼損･□水損□その他 |  |  | 円 |
| ６ | り災世帯員 | 氏名 | 続柄 | 年齢 | 性別 | 氏名 | 続柄 | 年齢 | 性別 |
| 　 | 　 | 　 | 男・女 | 　 | 　 | 　 | 男・女 |
| 　 | 　 | 　 | 男・女 | 　 | 　 | 　 | 男・女 |
| 　 | 　 | 　 | 男・女 | 　 | 　 | 　 | 男・女 |
| 　 | 　 | 　 | 男・女 | 　 | 　 | 　 | 男・女 |
| ７ | 火災保険の契約 | 保険会社名 | 不動産・動産の別 | 契約年月 | 保険金額（万円） |
| 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 |
| ８ | 今後の連絡先 | 住所　　　　　　　　　　　　　氏名　　　　　　　電話 |

※　記入に際しての注意事項、記入要領は裏面を参照

（裏）

|  |
| --- |
| 【注意事項】１　この届出は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。２　この届出の提出がなければ、り災の証明書を発行できない場合があります。３　この届出は、建物１棟ごと、または、所有者ごとに１部作成し、り災した日から起算して５日以内に提出してください。４　この届出には、動産がり災した場合、り災物件明細書を添付してください。５　届出者の押印は不要です。【記入要領】（４の欄）１　建築購入金額は、り災した建物の総建築費または総購入費を記入してください。２　建築の用途の欄は、住宅、店舗、倉庫、物置、作業場等、り災前に使用されていた用途を記入してください。３　建物を建築または購入してから、り災するまでの間に増・改築した場合は具体的に記入してください。４　坪を㎡であらわす場合は、3.3倍してください。（５の欄）１　り災した物件の欄は、へいの類、庭木の類、物干し台などり災した物件を記入してください。２　り災種別の欄は、あてはまるものを○で囲んでください。ただし、焼損、水損、その他の意味はつぎのとおりです。(１)　焼損　　焼けたもの、熱で変質、変形したものなど。(２)　水損　　消火するために、ぬれたもの、こわれたもの、汚れたものなど。(３)　その他　煙でよごれたもの、運び出すときこわれたもの、避難するときにこわしたものなど。（６の欄）　世帯員である同居人も記入してください。（７の欄）不動産、動産の別欄は、建物または、家財道具一式、書画、骨とう、貴金属、什器・備品、内部造作等契約内容を記入してください。◎　ご不明な点につきましては、下記へお問合せください。また、提出先は、消防署までお願い致します。東温市消防署　　　電話 089-964-5210　　火災調査担当者 |